

わくわく 本だな



4月

★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

こんげつのおすすめ



『トヤのひっこし』（えほん）

イチンノロブ・ガンバートル／文 パーサンスレン・ボロルマー／絵 津田紀子／訳 福音館書店



モンゴルにすむトヤのかぞくは、ひっこしすることに。さばくや山をこえても、新しいばしよには、なかなかつきません。

『ヘンテコはみがきこ』（えほん）

みやにしたつや／作・絵 学研教育出版



へんてこかいじんがつくった、なぞのはみがきこ。リンゴあじで、はみがきすると、かおがリンゴになっちゃった！

『ドラゴン王さまになる』★

茂市久美子／作 とよたかずひこ／絵 国土社

ドラゴンゴン国のたからものがぬすまれた！王子のドラゴンは、たからをとりかえすことができるかな？



『それいけ！ぼっくん』★★

富安陽子／作 小松良佳／絵 借成社

ぼっくんは、目には見えない、家のまもり神。いたずらばかりする妖怪チミモーを、まほうの竹ぼうきでやっつけます！



『ゆめみの駅遺失物係』★★★

えきいしつぶつがかり 安東みきえ／著 ポプラ社



落とし物としてとどけられた物語が、ゆめみの駅にほかんしてあります。わたしのなくした話もあるのかな？

『東京駅をつくった男 日本の近代建築を切り開いた辰野金吾』（ちしきの本）

きんだいけんちく 大塚菜生／著 くもん出版



東京駅ができてから、百年がたちました。今も変わらないすがたで利用されています。どんな人が、駅を建てたのでしょうか。



あたらしく はいった本

『カエサルくんと本のおはなし』(えほん)

いけがみしゅんいち／文 せきぐちよしみ／絵



福音館書店

本のなかからあらわれた、小さなおじさん。本のうまれたひみつを、おしえてくれるんだって！

『ともだちはぶた』★

村上しいこ／作 田中六大／絵 WAVE 出版

ぶたのはなこちゃんは、とってもまじめ。うちへあそびに行ったら、おこられてちゃった。どうして？



『おーばあちゃんはきらきら』★★★

たかどのほうこ／作 こみねゆら／絵 福音館書店



おーばあちゃんは、小さくてしわくちや。でも、むかしあったことを話しはじめると、ふしぎな物語ばかり。まほう使いなのかも？

『踊る光』★★★

トンケ・ドラフト／作 西村由美／訳

今村暁子／絵 岩波書店

とうだいも 灯台守りの男のもとに、ふしぎな青年がやってきた。男にダンスを教えるかわりに、ランプをつける仕事をやりたいと言う。



『おおきな3びきゆうえんちへいく』

(えほん) クリス・ウォーメル／作・絵

小風さち／訳 徳間書店

きょうは、みんなでゆうえんちへ。けれども、ゾウおばさんたちは、とちゅうでよりみちばかり。ゆうえんちが、しまっちゃうよ！



『モンスター・ホテルでひみつのへや』★

柏葉幸子／作 高畠純／絵 小峰書店



ホテルのだんろのうらに、なぞのかいだんがかくされていた！おりていくと、ほこりをかぶった大きないも虫が、ねていました。

『消えた犬と野原の魔法』★★★

フィリパ・ピアス／作 ヘレン・クレイグ／絵

さくまゆみこ／訳 徳間書店

ティルの犬が、とつぜん消えた。さがしものが上手なおじさんと野原に行って、モグラやネコに聞いてみたけれど…。



『アラスカの小さな家族 パラードクリークのボー』★★★

カークパトリック・ヒル／著

レウィン・ファム／絵 田中奈津子／訳 講談社



ボーはアラスカの小さな町で、幸せにくらしています。母さんはいませんが、父さんは、なんと二人もいるのです。

『巨大隕石から地球を守れ』(ちしきの本)

高橋典嗣／著 少年写真新聞社

もし、うちゅう 宇宙から大きな隕石が落ちてきたら、どうする？隕石から地球を守るための活動、「スペースガード」のはたらきを知ろう！



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね！としょかんのホームページも見てください。

＜編集・発行＞ 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273